

(平成16年第4回定例区議会)

# 代表質問 (要旨)

## 自由民主党議員団

石渡 伸 幸

### 震災対策について

**問** 震災対策には、「減災」という地震等の被害を最小限に止める予防対策があるが区の取り組みは、災害要援護者対策として、区の複数部門の連携や民生委員など、日常から地域の方々の連携確保の考えは、150万人から200万人といわれる層間流動区民への対策は、災害発生時の自衛隊救助活動を出動要請なしで開始できる制度にすべき。

**答** 減災の視点から予防対策が重要と考える。施策の実施に向け実践的な仕組みづくりを構築していく。帰宅困難者支援場所の指定や地域協力会の設置、訓練の実施など地域防災力の向上に努める。東京都とも協力し、迅速な派遣に向けて努力する。

### 中等教育学校について

**問** 区立中等教育学校創設による公立学校の復権を期待する。そこで、都立中等教育学校にない区立中等教育学校の特色は何か。区長招集あいさつで挙げた教育課程編成の3つの大きな柱をどのような形で反映するのか。明治大学教授齋藤孝氏のゼネラルマネージャーの位置づけや教育手法について、保護者や区民への周知が必要ではないか。

**答** 区が教員の任命権を持ち、機動性を発揮した学校運営が可能。「確かな学力の向上」では、6年間の効果的なカリキュラムを、「豊かな人間性の育成」では、高校受験のないゆとりを生かした体験や伝統文化とのふれあいを、「キャリア教育の推進」では、本区の教育資源を活用し、高い志を持たせることなどを実践していく。今後、ゼネラルマネージャーの位置づけや役割などを検討することにも、その内容等を保護者や生徒、区民に説明していく。

### 区政全般について

**問** 区長はどのよう千代田区政を変えてきたか。4年間を振り返った所見と今後の去就について伺う。

**答** 本区が地方分権に値する自治体として信頼を得るため、区政改革の推進に取り組み、成功事例を積み重ねてきた。さらに区民福祉の向上に努めるため、熱い情熱と千代田区への深い愛情を持ち、引き続き区民の信託を得たい。

## 日本共産党区議団

鈴木 栄 一

### 震災などの自然災害対策について

**問** 2004年は重大な災害が相次ぎ、国と自治体の被災対策の責任は重大だが、区長の見解は。また、区は自然災害対策を抜本的に強化することを国や都へ要求すべき。

**答** 高齢者世帯の木造家屋の耐震診断等の支援を行うべく、今後も災害予防等の対策を総合的、計画的に実施していく。また、国や都への要求は国会の動向等を注視していく。

### 石川区長の4年間の区政運営について

**問** 区長が断行した行財政構造改革は、手段であるはずの人員とコストの削減が目的になっており、その結果、福祉サービスの排除される区民を生み出しているのではないかと経営的視点の導入は公共サービスの民間開放の推進になるだけと考えるがどうか。行財政構造改革推進大綱は都も23区も全く同じ流れである。全国的な行革路線に流されず、本来の自治体の原点に立ち戻らなければならないのでは。

**答** 経営的経費の削減等により、限りある経営資源を効率的、効果的に活用するものと考えている。より柔軟で質の高いサービスを提供するためであり、今後も進めていく。区の行財政構造改革は、地方自治の本旨を権利として主張するだけではなく、常に努力する義務を自ら課すもの。

### 第二次住宅基本計画(素案)について

**問** 第一次住宅基本計画(素案)の目的には区の住宅政策の基本理念が貫かれているのか。区営住宅等の管理に指定管理者制度を導入し、企業が管理者に指定されれば、営利が最優先になり、サービスの低下等が起らないか。定期借家制度の導入等により公的住宅のあり方を大きく変えようとしているのでは。住宅供給を全市民間任せにすることが果たして自治体の住宅政策と言えるのか。

**答** 従前計画の区民が住み続けられ、また住みたくなるまちを形成する」と相違ない。事業者選定で入居者サービスを実施させる等を実施していく。公正、公平の観点からより困窮度の高い方に入居機会の拡大を図っていくもの。箱ものとしての住宅だけでなく、区民の居住を総合的に支援していく住宅政策を推進していく。

## 公明党議員団

山田ながひで

### 区政運営の5つの基本姿勢について

**問** 石川区長が就任して4年が経過するが、就任時、表明した5つの区政運営の基本姿勢について伺う。

**答** 「区民本位の公平かつ民主的な区政」とは、行政の基本的事項であり、情報公開など透明性を高め、説明責任と全体の奉仕者としての役割を果たすことと考えるが、どう具現化したのか。民間で言えばサービス業といえる行政サービスを提供するにあたり、「職員の意識改革が質的向上を図るうえで重要」としているが、到達度をどう評価しているのか。「経営感覚にあふれた区政実現」には、職員がコスト意識を持ち仕事に取り組むことは当然である。それが区民サービス向上に結びつく必要があると考えるが、その効果は、「他の自治体をリードする区政」とは、先進的な取り組みにより本来あるべき自治体を目指し、改革の先頭に立つことが千代田区のポテンシャルを高め、地域の活性化につながるかと考えるが、その具体的な内容は、「挑戦・変革・創造の区政」について、施策の目標達成のためには、今後も前例や制度にとらわれず区民、地域団体、企業、NPO等と連携し、新たな枠組みを作り出す柔軟で自立的な職員の発想や提案が求められ、その結果を適切に評価すべきと考えるが。

**答** 区民の信頼を確保するために、行政サービスのコストを明らかにし、経営評価の手法としてパフォーマンスカードを採用するなど、区政運営の透明性の向上に努めた。行動が重要と考え、チームプレー着用や、外部調査機関による窓口対応調査等で問題点を明確にし、接遇改善に努め、職員の意識改革は着実に進んだ。行財政構造改革に取り組み、総人件費の抑制、新たな行政課題のための財源確保、受益者負担の適正化では公平性の確保のみならず、区民の区政への積極的な関与を引き出すなどの効果が表れた。「前例踏襲」や「護送船団方式」から脱却し、「いすみども園」による幼保一元化、罰則を適用した生活環境改善、特別区では初めての中高一貫校開設の取り組みなど、他の自治体をリードする区政運営に努めた。自治体が独自の施策を果敢に打ち出すことが地方分権を進め、日本社会を変えていくと考える。本区の総合行政、高齢者福祉、子育て、環境施策等は全国的に高いレベルに到達することができた。